

国語科 学習指導案

I 単元 みんなでできる遊びを聞き合おう (『よい聞き手になろう』)

II 考察

1 教材観

(1) 育成を目指す資質・能力の三つの柱

③学びに向かう力、人間性等

友達と積極的に関わりながら、よりよい聞き方について考え、話を聞き合おうとする態度

①知識及び技能

必要な情報に気を付けた聞き方に関する知識及び、それをを用いる技能

②思考力、判断力、表現力等

必要な情報についての有無を判断し、質問を考える力

(2) 学習内容：学習指導要領上の位置付け

[知識及び技能] (2)

ア 考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解すること。

[思考力、判断力、表現力等] A 話すこと・聞くこと(1)

エ 必要なことを記録したり質問したりしながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉え、自分の考えをもつこと。

(3) 単元の価値

本単元では、みんなでできる遊びで遊ぶために、友達の紹介する遊びについて聞き合う活動を行う。その価値は以下のとおりである。

子どもたちは、日常的な学級レクリエーションでの遊びの中で、互いの認識のずれのために遊びが成立しないという経験をしてきている。そして、その原因が遊ぶために必要な情報の不足であることも理解している。そのため、遊びの経験が異なる友達の紹介する遊びで遊ぶために、遊びの紹介を聞き合うことは、必要な情報の有無を判断し、質問することにつながる。また、必要な情報の有無に応じて繰り返し質問することは、必要な情報を聞くための質問に関する知識や、それをを用いる技能を高めることにつながっていく。

子どもたちは、友達の話す遊びの紹介について聞き合う中で、遊ぶために必要だと考える情報を質問する。そして、遊びの紹介や質問によって得た情報を、実際に遊べると判断できるまで関連付けたり、質問に対する友達の回答から自分の質問の適切さについて振り返ったりする。このことは、必要な情報の有無を判断する力を高めることにつながる。さらに、必要な情報を聞くための質問を考える力を高めることにつながっていく。

子どもたちは、遊びの紹介を聞き合う活動において、聞き手と話し手の両方の立場を経験する。

聞き手として必要な情報を質問することには、友達の紹介する遊びの内容が分かったり、実際に遊ぶ場面でスムーズに遊べたりといった成果を感じられるよさがある。また、話し手として聞き手が必要と考えた情報に関わる質問を受けることは、自分の話を振り返り、情報を加えてより分かりやすく話そうとすることにつながる。このことから、友達の紹介する遊びについて聞き合う活動は、積極的に友達と関わり、よりよい聞き方について考え、話を聞き合おうとする態度を養うことにつながっていく。

(4) 今後の学習

ここでの学習は、4年「委員会の仕事を調べよう」(『聞き取りメモの工夫』)における、委員会の仕事を調べる目的で、自分たちにとって必要な情報は何かを考え、上級生に聞きたいことを質問しながら聞く学習へと発展していく。

2 児童の実態及び指導方針

子どもたちは、2年「だいじなことをつたえよう」において、話し手の知らせたいことに気を付けて聞いたり、メモを取ったりする学習に取り組んできた。この学習の中で明らかになった子どもたちの実態及び本単元を進めるにあたっての指導方針は、次のとおりである。

- ① 話し手の知らせたいことを落とさないように気を付けて聞いたり、聞きながらメモを取ったりすることができた。このような子どもたちが、実際に遊ぶために必要な情報を聞くための聞き方を身に付けられるよう、「時間」「場所」「人数」といった、聞く際の視点を話し合う活動を設定する。
- ② プールや遠足等の連絡という具体的な場面設定の下で話し手の話を聞き、日時や持ち物等の話し手の知らせたい情報に気を付けた聞き方について考えることができた。このような子どもたちが、実際に遊ぶために必要な情報について、有無を判断し、質問を考えることができるよう、遊びの経験が異なる子ども同士のペアを編成し、繰り返し互いの遊びの紹介を聞き合う活動を設定する。
- ③ プールや遠足等の現実場面での日時や持ち物等、話し手の知らせたい情報に気を付けて聞こうとすることができた。このような子どもたちが、必要な情報を質問することのよさを感じ、積極的に話を聞き合おうとすることができるよう、実際の遊びを振り返り、質問したことと上手に遊べた理由との関わりを話し合う活動を設定する。

Ⅲ 目標及び評価規準

Ⅳ 指導計画 ※Ⅲ・Ⅳについては、指導と評価の計画参照

Ⅴ 本時の学習

- 1 ねらい 友達の遊びの紹介を聞き、遊びを成立させるための質問をペアで話し合うことを通して、実際に遊ぶために必要な情報を聞き出す質問をすることができる。
- 2 準備 話を聞き合う場の説明用資料 質問カード 学習プリント
- 3 展開

学習活動と子どもの意識	指導上の留意点
1 本時のめあてをつかむ。 ・実際に遊ぶときに困らないよう、遊びの紹介に足りないことを質問できるのがよい聞き手だったよね。	○「実際に遊べるように、足りないことについて質問し、遊びの紹介を直す」という学習への見通しをもてるよう、よい聞き手について問いかける。 ○「場所」や「時間」等、具体的な遊びの場面設定を

- ・「外」や「1時間」に合った遊びになっているかを考えて聞くとよいな。
- 2 友達の遊びの紹介を聞き、実際に遊ぶために必要な情報を聞き出す質問を話し合う。
- ・遊ぶときに困らないよう、ペアの友達と一緒にたくさんの質問を考えよう。僕たちの紹介も協力して分かりやすく直せるといいな。
 - ・王様は1人ずつと言っていたな。しっぽははちまきで作るのか。遊ぶ範囲はどこからどこまでなのかな。
 - ・遊ぶ範囲について聞きたいから、「どこ」というカードを使って、どこからどこまでの範囲で遊ぶのか質問してみよう。
 - ・王様しっぽ取りで遊ぶ範囲については、話に入れてくれたから分かったね。あとは、王様の決め方を話していなかったから質問したいのだけれど、どう思う。
 - ・もう一度学習プリントを見返してみよう。そういえば、取ったしっぽを置くと言っていたけれど、場所は決まっているのかな。しっぽを置く場所は「どこ」か質問してみよう。
 - ・僕たちが質問したことで、王様しっぽ取りの遊び方の紹介が分かりやすくなったね。僕たちの遊びの紹介も、他の友達にたくさん質問してもらい、もっと分かりやすいものに直していきたいな。
- 3 本時の学習を振り返る。
- ・初めと比べて、遊ぶ場所がはっきりしたな。分からないことを質問すると、紹介が分かりやすくなるのだな。
 - ・次も、紹介がよくなるように、友達と必要なことを質問し合いたいな。

想起できるよう、前時に決めた遊ぶ際の条件について問いかける。

- 聞き合うことが遊びの紹介の改善につながることを感じながら学習できるよう、異なる遊びの紹介を考えたペア同士で話を聞き合う場を設定し、話し手と聞き手の役割を交代しながら繰り返し聞き合うよう伝える。
- 実際に遊ぶために必要な情報の有無をペアで判断できるよう、「人数」「道具」「範囲」等、遊びの紹介に必要な情報について質問する際の視点を記した学習プリントをペアに1枚用意し、視点に照らし合わせて話を聞くよう促す。
- 質問が考えられないペアに対しては、「場所」「時間」等の条件に合わせた質問を考えることができるよう、「どこで」「どこまで」「いつ」「何分」等の、質問に用いることができる言葉を記した質問カードを用意し、必要に応じて用いるよう促す。
- 必要な情報の有無を判断し続けられるよう、修正された遊びの紹介を聞く時間を確保し、実際に遊ぶ際に必要な情報の有無を学習プリントに記述しながら聞くよう促す。
- 必要な情報を聞き出すために質問し続けられるよう、学習プリントの記述と、考えた質問との整合を話し合っているペアを賞賛する。

評価項目

遊ぶ際の条件に合わせ、必要な情報を聞くための質問を繰り返し行ったり、複数記述したりしている。
 <発言・学習プリント②>

- 聞き合うことが遊びの紹介の改善に役立ったことを実感できるよう、遊びの紹介のための原稿や、聞き手のメモが記された学習プリントを見返すよう促す。
- 本時の学習の達成感を味わえるよう、友達が直した遊びの紹介が分かりやすくなった理由について問いかける。
- 別のペアから遊びの紹介を聞くという次時の学習への見通しをもてるよう、本時の学習でよくできたことや、解決しなかった課題を問いかける。

指導と評価の計画（全5時間）

目標	話の中心に気を付けて聞き，必要な情報を聞くための質問をすることができる。			
評価 規準	(①知識・技能)知りたい情報に気を付けて聞き，必要な情報を聞き出す質問をしている。 (②思考力・判断力・表現力)知りたい情報について，有無を判断したり，必要な情報を聞き出す質問を考えたりしている。 (③主体的に学習に取り組む態度)知りたい情報に気を付けて聞き，質問することのよさを基に，今後の聞き方に生かそうとしている。			
過程	時間	学習活動	指導上の留意点	評価項目<評価方法(観点)>
つか か む	1	○2年生の時までに経験した遊びを振り返り，「みんなで遊べる遊びの紹介を聞き合い，聞き上手になろう。」という学習課題をつかむ。	○上手な聞き方を共通の課題として意識できるよう，遊びの情報が分からないことが原因で困った経験について伝え合う活動を設定する。	◇聞き手の課題点やよりよい聞き方について記述している。 <学習プリント③>
ふ か め る	1 2	○2年生の時に経験した遊びの紹介文を考える。 ○ 友達の遊びの紹介を聞き，実際に遊ぶために必要な情報を聞き出す質問を話し合う。(本時1/2)	○聞き手が必要とする情報を考えられるよう，遊びの紹介に必要な情報を聞く際の視点を話し合う活動を設定する。 ○実際に遊ぶために必要な質問を考え続けられるよう，遊びの紹介に必要な情報を聞く際の視点が記された学習プリントを用いて，「紹介→質問→修正」を繰り返し行う活動を設定する。 ○実際に遊ぶために必要な情報を，必要感をもって聞き合えるよう，遊びの経験が異なるグループを編成する。	◇聞き手にとって必要な情報を基に，遊びの紹介で話す内容を選んでいる。 <学習プリント①> ◇遊ぶ際の条件に合わせ，必要な情報を聞くための質問を繰り返し行ったり，複数記述したりしている。 <発言・学習プリント②>
ふ り か え る	日常 1	○友達が紹介した遊びで遊ぶ。 ○遊びを振り返り，よい聞き方について話し合う。	○今後の聞き方に生かそうという意識を高められるよう，質問したことと，上手に遊べた理由との関わりを記述できる学習プリントを用意する。	◇質問の仕方について，分かったことやできるようになったことを学習プリントに記述している。 <発言・学習プリント③>